

2024(令和6)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業  
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

**若年性認知症カフェ**

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。  
参加される当事者とその家族との交流を通し、互いの不安や悩みを共有することで、安心できる居場所と仲間を作る。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2025年2月15日(土) 13時～15時半 定員15～20名

【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム ①新アプリ「ササエル」の紹介（エーザイ株式会社 伊東さん）

②交流会（近況報告）

3. 参加者数 9人（内訳：当事者0名、家族5名、専門職3名、一般1名）専門職サポート含む

4. 当日の様子

今月はエーザイ株式会社の伊東さんから新アプリ「ササエル」を紹介して頂きました。このアプリは日常生活の様子や気分を記録でき、その記録が毎月レポートで郵送されてもくるので、診療の際に最近の様子を伝える手段にも利用できます。当カフェはご家族の参加が多く、参加者からは、「何かあって記録しても何処に書いたかわからなる」や、「いざ診療では言い忘れる事も多かった」との声もあがり、「利用してみたい」と説明終了時には皆さん登録され、関心の高さが伺えました。近況報告では、当事者である配偶者やご兄弟のケアに加え、親の介護も徐々に増え、両方の介護に追われる日々の状況を、お話される方も数名おり、皆さん奮闘の日々を過ごされている様子が、垣間見えました。

5. 所感

参加者のご家族は、長く介護生活を送られている方も多く、これまでの経験から知識や工夫を数多く見につけ、安定した生活を過ごされているようにも見えますが、新たな情報に対しては常に関心高く勉強熱心です。今後とも、皆さんの生活に少しでもプラスになるような情報を伝えていきたいと思えます。今月のスイーツは、黒糖ブッセでした。



★次回予定：2025年3月15日(土) 以上